



## 第45期 報 告 書

2020.4.1 ▶ 2021.3.31

石英ガラスが、  
世界を変える。  
テクノオーツが、  
その未来を支えている。



# テクノオーツ株式会社

証券コード 5217

## 株主の皆様へ／事業の概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第45期（2020年4月1日～2021年3月31日）の営業の概況などにつきまして  
ご報告申し上げます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

園田育伸

### ●事業の経過及び成果

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）におけるわが国経済は、2019年末頃までは、合理化・省力化投資等を中心とした旺盛な設備投資需要にも支えられ、企業業績は堅調に推移していましたが、2020年2月頃から顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で状況は一変、多くの企業で業況が悪化し経済活動も停滞を余儀なくされました。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置等、様々な活動制約を経ても新規感染者数の拡大ペースは衰えを見せず、高止まりしている状況にあります。人・モノの動きや経済活動が強く制限されるなか、インバウンド消費の消滅や外出の自粛により、特に宿泊・飲食・旅行・航空等、対個人サービス関連企業を中心に業状は悪化しており、今後の感染拡大ペースやワクチンの接種完了時期等も不透明であるこ

とから、先行きが見通せず、多くの企業が対応に苦慮している状況です。

一方、当社グループが属する半導体業界におきましては、2018年秋以降、米中貿易摩擦等の影響から、メモリー投資の減速、データセンター関連需要の低迷等、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いていましたが、2019年秋頃から、半導体メーカー及び半導体製造装置メーカー各社の将来見通しは上昇基調に転じました。2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がるなか、スマートフォンに代表されるコンシューマ製品や車載、産業機器で大幅な消費減少となりましたが、反面、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、データセンターなどのインフラ需要は急激に拡大しています。また、足元では、自

### 業績ハイライト（連結）

	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
売上高（百万円）	6,651	7,887	9,121	9,082	12,791
営業利益（百万円）	723	1,131	1,648	1,419	2,446
経常利益（百万円）	822	1,101	1,704	1,480	2,368
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	551	867	1,161	992	1,606
純資産（億円）	71	80	88	97	112
総資産（億円）	94	109	120	133	152
設備投資（百万円）	575	1,232	954	491	1,156
減価償却（百万円）	391	450	539	573	590

自動車産業の急激な回復を背景に、車載向けを中心とした半導体需要の逼迫が顕在化している状況です。今回の「コロナショック」を契機に、世界中の人々の行動様式は変化を迫られ、働き方、製造現場、購買行動、教育・医療には大きな変革が求められています。このような新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は着実に拡大していくと思われま

す。このような環境のなか、当社では、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、当連結会計年度においては、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも、上場以来最高額を更新することができました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じた後、コロナ禍においても拡大を続け、足元では、過去最高レベルの水準で推移している状況です。

以上の結果、売上高は12,791百万円（前連結会計年度比40.8%増）、営業利益は2,446百万円（同72.4%増）、経常利益は2,368百万円（同60.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,606百万円（同61.8%増）となりました。

## ●対処すべき課題

当社グループが今後とも取り組むべき中長期的な成長戦略と課題を以下に示します。

### (1) 生産能力増強

- ・中国第3工場の稼働や各工場の生産性向上等により、生産能力の増強を図ります。
- ・品質管理の高度化を進めるとともに、社外パートナー、外注先等との連携強化を通じて、生産能力の向上を目指します。

### (2) 営業力強化

- ・コロナ後のお取引先との関係強化を図るとともに、高付加価値製品の開発と拡張を行い、石英・シリコン製品の量産品のマーケット拡大を目指します。
- ・シリコン製品の開発品、量産品の更なる売り込みを強化するとともに、火加工製品等、高難易度製品の拡大を図ります。

### (3) 業務効率化

- ・業務フロー、作業手順等の見直しを進め、業務自動化・効率化等のDXを推進します。
- ・テレワーク、会議システム等、効率化に資するシステムツールの更なる活用を図ります。

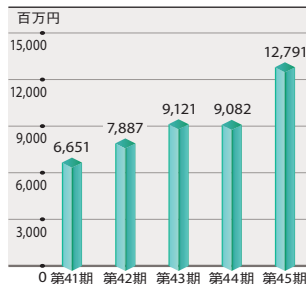
### (4) 経営基盤強化

- ・ESG経営、SDGsへの対応を進めるとともに、会社法改正への対応や新市場区分への移行を見据えたコーポレートガバナンスコード等への対応を行います。
- ・財務指標や株価を意識した経営を行い、IR機能強化、リスクマネジメント強化を図ります。

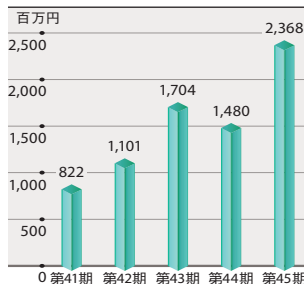
### (5) 人材育成

- ・各種研修の充実、業務マニュアルの作成推進、人事ローテーションの活発化等により、優秀な人材の育成に努めます。

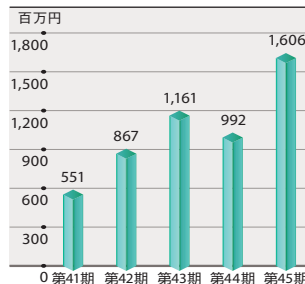
### ■ 売上高



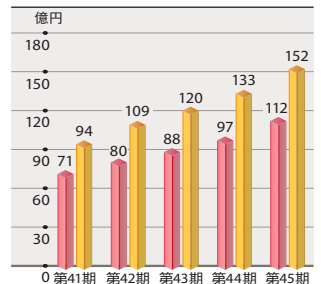
### ■ 経常利益



### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



### ■ 純資産／総資産



### ●次期の見通し

2021年度のがわ国経済は、新型コロナウイルス感染症における変異型ウイルスの蔓延、ワクチン接種対応の遅れ等に伴う新規感染者数の高止まり、医療体制の逼迫等が懸念され、民間消費の低迷や対面型サービスの抑制等により、経済活動の水準が元に戻るまでには相応の時間がかかると予想されることから、少なくとも年度前半は景気の落ち込みが避けられないものと思われま

す。一方、半導体業界におきましては、「コロナショック」を契機に本格化した、世界的なりもネットワークの広がりやデータセンター等メモリー需要の高まりなどプラス要因が強く、また、5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加も見込まれることから、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくものと思われま

す。当社グループの受注環境は、足元では過去最高レベルの水準に達しておりますが、加えて上記理由から中長期的な受注拡大の見通しは変えておりません。

以上のことから、2022年3月期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の通期連結業績予想につきましては、売上高13,100百万円（前連結会計年度比2.4%増）、営業利益2,460百万円（同0.6%増）、経常利益2,460百万円（同3.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,740百万円（同8.3%増）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 2022年3月期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期 (2021年4月～2022年3月)	13,100百万円	2,460百万円	2,460百万円	1,740百万円	2,249円73銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

### ●トピックス

- 中国第3工場（2021年6月末竣工予定）
- ・現在の中国第1工場・第2工場の隣接地に、総額約27億円第3工場を建設中です。
  - ・最大60台の機械設備設置が可能であり、最大約25億円/年の増産規模となります。



# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Highlights

### ● 連結貸借対照表

単位：千円

科目	前期(第44期) 2020年3月31日現在	当期(第45期) 2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,342,820	9,873,154
固定資産	4,976,074	5,400,722
有形固定資産	4,517,469	4,921,383
無形固定資産	57,282	242,524
投資その他の資産	401,321	236,814
資産の部合計	13,318,895	15,273,876
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,368,387	3,012,542
固定負債	1,245,460	1,006,568
負債の部合計	3,613,848	4,019,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,493,763	10,981,386
その他の包括利益累計額	211,283	273,377
純資産の部合計	9,705,046	11,254,764
負債及び純資産の部合計	13,318,895	15,273,876

### ● 連結損益計算書

単位：千円

科目	前期(第44期) 自2019年4月1日 至2020年3月31日	当期(第45期) 自2020年4月1日 至2021年3月31日
売上高	9,082,754	12,791,083
売上原価	6,511,620	9,007,865
売上総利益	2,571,133	3,783,218
販売費及び一般管理費	1,151,994	1,337,067
営業利益	1,419,139	2,446,150
営業外収益	71,534	11,080
営業外費用	10,467	88,464
経常利益	1,480,205	2,368,766
特別利益	—	3,601
特別損失	45,180	7,371
税金等調整前当期純利益	1,435,025	2,364,995
法人税、住民税及び事業税	437,648	745,786
法人税等調整額	4,597	13,003
当期純利益	992,778	1,606,206
親会社株主に帰属する当期純利益	992,778	1,606,206

### ● 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円

科目	前期(第44期) 自2019年4月1日 至2020年3月31日	当期(第45期) 自2020年4月1日 至2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,580,525	1,765,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,837	△990,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	325,353	△442,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,478	△54,216
現金及び現金同等物の増減額	1,391,562	278,607
現金及び現金同等物の期首残高	1,664,174	3,055,736
現金及び現金同等物の期末残高	3,055,736	3,334,344

### ● 連結株主資本等変動計算書 当期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

単位：千円

	株主資本				その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	829,350	1,015,260	7,684,625	△35,473	9,493,763	△2,486	213,770	211,283	9,705,046
当期変動額	—	—	△116,029	—	△116,029	—	—	—	△116,029
剰余金の配当	—	—	△116,029	—	△116,029	—	—	—	△116,029
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	—	1,606,206	—	1,606,206	—	—	—	1,606,206
自己株式の取得	—	—	—	△2,552	△2,552	—	—	—	△2,552
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	263	61,830	62,094	62,094
当期変動額合計	—	—	1,490,176	△2,552	1,487,623	263	61,830	62,094	1,549,717
当期末残高	829,350	1,015,260	9,174,802	△38,026	10,981,386	△2,222	275,600	273,377	11,254,764

### ●会社概要

商号 テクノクオーツ株式会社  
 証券コード 5217 (東証ジャスダック上場)  
 設立 昭和51年10月2日  
 本社 〒164-0012  
 東京都中野区本町一丁目32番2号  
 資本金 829,350千円

### ●役員 (2021年6月22日)

取締役社長	園田	育伸
専務取締役	高橋	寛
常務取締役	岸	慎二
取締役	増田	勇
取締役	手川	英一
常勤監査等委員	石川	和弥
監査等委員	谷口	茂樹
監査等委員	森田	岳人

### ●主な事業

当社は、石英ガラスの加工技術を基に、半導体製造装置用の石英製品及びシリコン製品、並びに理化学機器の製造、販売を主力事業としております。

### ●主要製品

- ①半導体製造装置用製品  
 反応管、キャリアポート、ベルジャー、石英リング、シリコン電極
- ②理化学機器用製品  
 石英ガラスセル、G・Lクロマトグラフィー用製品、テドラバック

### ●主要な事業所

本社 東京都中野区本町一丁目32番2号  
 工場及び営業所等

名称	所在地	名称	所在地
蔵王工場	山形県山形市	東北営業所	山形県山形市
蔵王南工場	山形県山形市	北陸営業所	富山県富山市
東京営業所	東京都中野区	九州営業所	熊本県熊本市
関西営業所	京都府京田辺市		

### ●従業員の状況

区分	従業員数 名	前年比増減 名	平均年齢 歳	平均勤続年数 年
男性	211	+16	37.9	12.6
女性	37	+12	39.3	11.6
合計又は平均	248	+28	38.1	12.4

(注) 従業員数には、役員(8名)、及び臨時従業員(15名)は含んでおりません。

### ●重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
杭州泰谷諾石英有限公司	千 US \$24,100	% 100	半導体製造装置用石英製品・シリコン製品の加工製造販売
GL TECHNO America, Inc.	千 US \$100	% 100	半導体製造装置用部品その他の製造販売及び輸出入業務

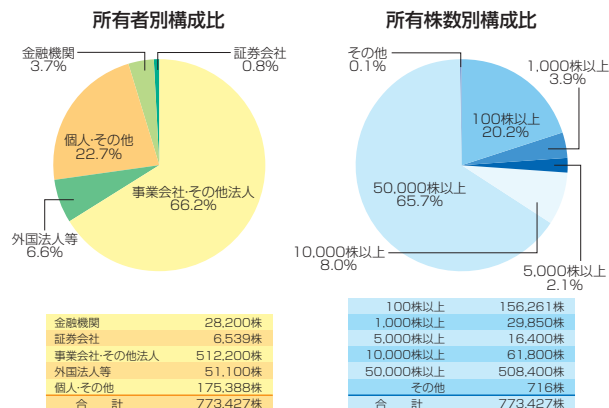
### ●株式の状況

発行可能株式総数	3,120,000株
発行済株式の総数(自己株式除く)	773,427株
株主数	1,390名
自己株式の取得、処分等及び保有 決算期における保有株式	6,573株
普通株式	
大株主(上位10名)	

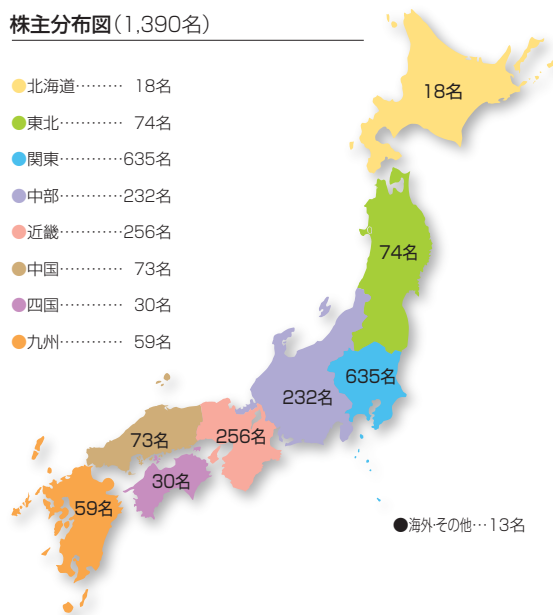
株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
ジーエルサイエンス株式会社	508,400	65.73
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	39,000	5.04
テクノオウツ従業員持株会	12,800	1.65
株式会社山形銀行	10,000	1.29
JPMBL RE UBS AG LONDON BRANCH COLL EQUITY	8,400	1.09
株式会社三菱UFJ銀行	8,000	1.03
丸山 譲	4,100	0.53
株式会社山口銀行	4,000	0.52
住友生命保険相互会社(特別勘定)	2,600	0.34
根生 辰 男	2,450	0.32

(注) 持株比率は、自己株式(6,573株)を控除して計算しております。

### ●株式分布状況(自己株式除く)



### 株主分布図(1,390名)



## 当社のホームページ



<http://www.techno-q.com>

## 株主優待制度



山形県産高級さくらんぼ



お知らせ  
株主優待「さくらんぼ」発送につきましては、6月15日頃～7月5日頃にかけて順次発送の予定です。なお、多少の日程のずれはご了承ください。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会議決権行使日	毎年3月31日
株主確定日	
期末配当金支払日	毎年3月31日（中間配当は行っておりません。）
株主確定日	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.techno-q.com">http://www.techno-q.com</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。